



過去の災害を教訓に 進化する災害報道

2019年12月 6日

NHK報道局 災害・気象センター
橋爪 尚泰

自己紹介

- 1990年(H 2) 釧路放送局
- 1995年(H 7) 報道局 社会部
(気象庁・建設省・災害遊軍)
- 2005年(H17) 報道局 社会部デスク (気象災害担当)
- 2009年(H21) 札幌放送局 副部長
- 2012年(H24) 人事局 副部長
- 2015年(H27) 仙台放送局 報道統括
- 2017年(H29) 報道局 災害・気象センター

きょうお伝えする内容

- ①なぜNHKは災害報道に
力を入れるのか
- ②過去の教訓と進化してきた
災害報道
- ③あと何が足りないのか
台風19号などを踏まえて

NHKの放送局

全国 54 局
(本部・拠点局・地域放送局)

- 本部
- 拠点局
- 地域放送局
- 支局



- <保有メディア>
- TV 4波 (+データ放送)**
 総合 (GTV)
 Eテレ (ETV)
 BS1
 BSP
- RADIO 3波**
 ラジオ第1 (R1)
 ラジオ第2 (R2)
 FM
- WEB**

取材の組織

本部(報道局)

- ・ 政治、経済、社会、科学文化、国際、スポーツ、映像取材、映像制作
- ・ ネットワーク報道部 ***災害専門G**

拠点局

- ・ 首都圏、大阪、名古屋、広島、福岡、仙台、札幌、松山
- ・ 各局とりまとめ・支援機能も ***災害担当**

地域放送局

- ・ 事件・事故、裁判、行政・選挙、災害、経済、街の話題……“森羅万象”

NHKの位置づけ

災害対策基本法

2条 指定公共機関

日本放送協会その他の公共的機関、電気、ガス、輸送、通信
6条

指定公共機関は、業務を通じて**防災に寄与しなければならない**

気象業務法

15条

気象庁は警報事項を直ちに関係省庁、**日本放送協会**に通知

日本放送協会は直ちに放送しなければならない

災害報道の役割

<災害時>

- ①被害の軽減・防止 社会のモードを切替える
- ②救援活動の支援 全体状況、最大被害を迅速に
- ③生活再建・復興支援 長期的に心と暮らしを支える

<平常時>

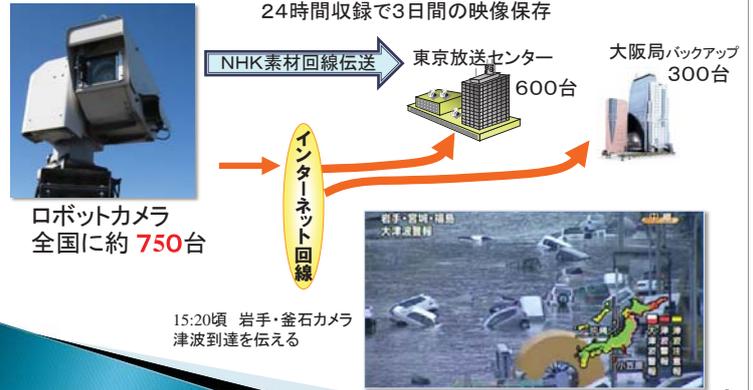
- ④安全な社会の構築 課題提示、記憶継承 “想像力”

「情報で命を救う」可能性にかける

7

ロボカメ・モニタリングシステム

モニタリングシステム 全国のカメをインターネット回線で放送局へ接続
端末で選択して放送可能
24時間収録で3日間の映像保存



8

取材ヘリコプター



9

震災や台風の教訓

東日本大震災

- 約30分間で21回の避難呼びかけ
「海岸や川の河口付近には絶対に近づかないで下さい」
⇒“いつもの違い”が伝わったか

- ロボカメの描写、電話インタ
「被害の情報は、今のところありません」
⇒“正常化の偏見”助長しなかったか

平成28年台風10号

- 上陸前から異例の番組、特設ニュース
岩手県岩泉町など東北・北海道で甚大な被害
⇒“個別の地名”をもっと早く伝えられたら



地震・津波報道の見直し

- 津波最優先の原則
警報発表時は津波からの避難呼びかけを優先
- 全画面表示と避難促すスーパー
ワンセグでも視認しやすい画面構成
- 行動を促す強い呼びかけ
「大津波が来ます。今すぐ逃げて下さい」
「高いビルの上か、海岸から遠く離れたところへ逃げること」
- 「情報が無いこと」の意味をしっかりと伝える
「被害の情報がない」→「被害がない」とは言えない
連絡が取れない地域はないか 不確実な情報を避けない



1人でも多くの命を守るために
事態の異常さ 強い危機感を伝える

11

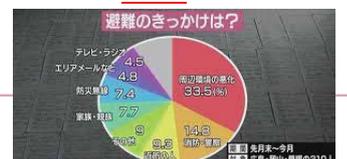
2018年西日本豪雨では？

～2018年～西日本豪雨アンケート

○避難するきっかけは？

- 浸水や氾濫など環境悪化 ……33.5%
- 消防・警察・近所の呼びかけ ……24.1%
- 家族・親族の呼びかけ …… 7.7%
- 自治体の防災無線 …… 7.4%
- テレビ・ラジオ …… 4.5%

広島・岡山・愛媛の被災者310人
NHK取材チームがアンケート



12

西日本豪雨を受けて新方針

▼報道したが200人を超える犠牲者
(避難間に合わず)

広域豪雨災害の避難はローカル放送の充実しかない

【原則】

命の危険が迫る時、地方局での避難呼びかけ最優先

- 避難呼びかけのモードを判断しローカル放送を充実
- 避難呼びかけは「どぶ板情報」と「強いアナウンス」
- ローカル放送に邁進できる環境整備

13

情報のどぶ板化と省力化

自治体の避難情報を自動作画⇒避難呼びかけに活用

NMAPSのデータナビゲーターで自動取得・自動表示

▼PCをイントラに接続⇒画面を放送で使用可能

避難勧告【広島県】		避難所【呉市】	
広島市安芸区 上野	1534世帯 3438人	仁方まちづくりセンター	
広島市安芸区 湯野	2302世帯 5034人	吉浦小学校 (体育館、教室)	
広島市安芸区 中野	4241世帯 8708人	福老人集会所	
広島市安芸区 寺尾敷	319世帯 483人	吉浦中学校 (体育館、教室)	
広島市安芸区 船越	1653世帯 3559人	天応小学校 (体育館、教室)	
広島市安芸区 矢野	2822世帯 6437人	天応まちづくりセンター	

14

デジタル時代の災害報道

災害情報

避難情報

ライフライン
情報

etc.

マルチ発信

テレビ・L字

データ放送

ラジオ

WEB・スマホ

被災者
視聴者

15

ひとりひとりに向き合う

NHKニュース・防災 アプリ (2016年6月～)

▽ニュース&市町村単位・地図情報

▽警報等のプッシュ通知

▽放送の同時配信・ライブ映像

あなたの天気・防災 サイト (2018年11月～)

▽市区町村1927の地域ページ

▽天気予報は、1時間毎・10日間先まで

▽「警報」「避難情報」「地震・津波」が一覧

あなたの天気・防災

16

避難情報の自動表示

エリア限定自動表示

これまでの表示



自分の地域 (市町村単位) の避難情報だけ
発表直後からずっと表示してくれる
避難情報を見落とすことがない
※テレビに登録された郵便番号をもとに強制表示



自分に関わる表示が短時間で消えてしまう...
他の地域の情報はかりで
いつ自分の地域の情報が出かわからない
※避難情報のL速報スーパーは今後も継続

9月2日から開始

対象は近畿の2府4県、原則として市町村単位
「避難指示」「避難勧告」「避難準備情報」

17

④ 台風19号で見たこと

令和元年9月12日～13日

▼事前の警戒周知◎ (計画運休・外出自粛)

▼進路・雨量・風速の予想◎

結果: 死者・行方不明者 95人

※広域で大量の雨

・103か所で24H雨量1位 ・71河川で決壊

広域多雨の時代へ

<河川氾濫の多発化・緊急放流・水平が垂直か!>



P-19

台風19号豪雨から学ぶ

<河川氾濫の多発化に備えて>

▼事前の準備

- ・ハザードマップと重要水防か所の周知(直前大切)
- ・水位計と監視カメラ整備(どう伝えるかも)

▼氾濫切迫時

- ・氾濫のリアルを伝えよう(解説・カメラ・水位)
 - ・緊急放流の伝え方(難しいが研究不足)
- ※現場の危機感・リアルを伝えて、最適な避難を！
(参考:解説のリアルを考えるVTR)



P-19

さらなる連携の強化

▼地方整備局の緊急解説

河川監視カメラを共有。
専門の地整担当者がNHKニュースで
洪水の危険性解説。
(4地整で7回実施・9月末時点)



5月21日 首都圏ニュースで緊急解説

▼逃げなきゃコール参加

プッシュ機能のある
アプリ「NHKニュース防災」活用。
離れて暮らす高齢者家族の情報を
入手して電話などで伝達。



20

視聴者との連携

NHK スcoopBOX

<https://scoopbox.nhk.or.jp/>

民放各社も同様のシステムを運用



成田市で激しい雨

投稿者: 視聴者
記録的短時間大雨情報 成田市で大雨



東京湾でクジラがジャンプ

投稿者: 森田英幹さん
【投稿映像大賞 話題部門 最優秀賞】東京湾でクジラがジャンプ



高知県で山火事

投稿者: 視聴者
高知県北川村で山火事

スcoop映像は視聴者が投稿する時代に！

21

おわりに

命と暮らしを守る情報を

多様な媒体で発信し

防災・減災につなげる

